

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和 7 年度第 1 回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事 務 局 (担当課)		小金井市都市整備部区画整理課		
開 催 日 時		令和 7 年 1 1 月 1 2 日 (水) 1 8 時 3 0 分～2 0 時 0 0 分		
開 催 場 所		小金井市区画整理課事務所 2 階会議室		
出席者	委 員	大沢昌玄・押田佳子・杉山薫・井上征志・金井清治・小島義一・酒井淳・土橋光里・土屋晴彦・藤嶋建志・尾路清		
	都市づくり公社	宮川雄一・市井豪人		
	事務局	若藤実・大久保隆・原嶋薫・竹中正人・郡司和昌・井垣研吾		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	2 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		－		
会 議 次 第		1 開会 2 市長挨拶 委員紹介及び職員紹介 3 議題 協議会の目的及び検討内容について 4 その他 次回以降の日程について 5 閉会		
会 議 結 果		○ 梶野通りの植栽と駅前公園のアイディアを 1 1 月 2 1 日金曜日までに事務局に提出 ○ アイディアには以下の視点を含むこととする <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者や使われ方の視点</li> <li>・ 変わりゆくニーズに対応できるようなフレキシブルさ</li> <li>・ 小金井市全体を踏まえた生態系の視点</li> </ul>		
提 出 資 料		1 次第書 2 協議会委員名簿 3 東小金井駅北口まちづくり協議会（第 4 次）協議会の目的と検討内容について 4 東小金井駅北口まちづくり協議会（第 4 次）中間とりまとめ 5 東小金井駅北口のまちづくり第 5 3 号 6 新春市民のつどいのチラシ		

## 審議経過

- 事務局 定刻になりましたので開始いたします。この協議会は公開となっており、自由に傍聴が可能となっております。本日の進行にあたり、各委員の方と傍聴者の方にお願いがございます。会議録用の録音及び記録用の写真撮影を行いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- それでは、協議会に先立ちまして、市長の白井よりご挨拶を申し上げます。
- 市長 皆様、こんばんは。小金井市長の白井亨でございます。
- 日頃より小金井市のまちづくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
- 東小金井駅北口の土地区画整理事業につきましては、地権者の皆様方のご理解とご協力のもと、駅前交通広場や都市計画道路の整備、建物移転の進展等により街並みも大きく変わり、事業としましては、おおむね9割のところまで進んでまいりました。
- 今回は、まちづくり協議会ということで、主に駅前公園や梶野通りの整備について、皆様方のご意見を伺う予定でございます。
- こちらの整備が進みますと土地区画整理事業として、完成形が見えてきますので、市民の皆様をはじめ、私も大変期待しているところでございます。今後とも、小金井市のまちづくりに、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。
- 事務局 改めまして、委員の皆様のご紹介をいたします。第4次まちづくり協議会ということで、引き続きの顔触れではございますが、前回開催から4年余りが経過していることもあり、改めてご紹介の場を設けたいと存じます。お名前を呼ばれた方は大変恐縮ですがご起立いただき、一言、ご挨拶をいただけると幸いです。
- 最初に、学識経験者の委員の方々からご紹介いたします。
- 本会の会長でございます、日本大学理工学部教授の大沢委員です。
- ＜ 大沢委員挨拶 ＞
- 続きまして、本日はリモートでの参加となります、会長の職務代理者、日本大学理工学部准教授の押田委員です。まだリモートが繋がっておりません。
- 続きまして、ランドスケープの専門家で、地元で樹木等も生産されている杉山委員です。
- ＜ 杉山委員挨拶 ＞
- 続きまして、公募委員の皆様をご紹介いたします。
- 安倍委員です。本日はまだお越しになっておりません。
- 井上委員です。
- ＜ 井上委員挨拶 ＞
- 加藤委員です。本日はまだお越しになっておりません。
- 金井委員です。
- ＜ 金井委員挨拶 ＞
- 上條委員です。本日はまだお越しになっておりません。
- 小島委員です。
- ＜ 小島委員挨拶 ＞

酒井委員です。

＜ 酒井委員挨拶 ＞

土橋委員です。

＜ 土橋委員挨拶 ＞

土屋委員です。

＜ 土屋委員挨拶 ＞

藤嶋委員です。

＜ 藤嶋委員挨拶 ＞

続きまして、商業者の代表の委員になります。

ヒガコ北口商店会からご推薦いただいております尾路委員です。

＜ 尾路委員挨拶 ＞

ありがとうございました。続きまして、区画整理課長から事務局を紹介いたします。

区画整理課長

皆様こんばんは。本日はお忙しいところ、まちづくり協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。区画整理課長の太久保でございます。それでは、市の職員を紹介いたします。まずは都市整備部長を務めております若藤でございます。次に、区画整理課区画整理係長の原嶋です。主任の郡司です。主事の井垣です。以上でございます。

事務局

続きまして、市が業務を委託しております公益財団法人東京都都市づくり公社につきまして、ご紹介いたします。

＜公社自己紹介＞

次に、議事に入る前に、資料のご確認をいたします。

まず、委員の皆様の机上に、委嘱状、承諾書、資料を配布してございます。承諾書につきましては、お帰りの際に回収いたしますので、恐れ入りますがご記入をお願いいたします。

そのほか、議事に関する資料のご確認をいたします。本日お手元に

① 次第書

② 協議会委員名簿

③ 東小金井駅北口まちづくり協議会（第4次）協議会の目的と検討内容について

④ 東小金井駅北口まちづくり協議会（第4次）中間とりまとめ

⑤ 東小金井駅北口のまちづくり第53号

⑥ 新春市民のつどいのチラシ

を配付いたしました。資料の不足はございませんか。

事務局からは以上になります。それでは会長、進行の方、よろしく願いいたします。

会長

改めまして会長を仰せつかっております。日本大学の大沢でございます。皆様今日はよろしくお願いいたします。

それではただ今から、令和7年度第1回東小金井駅北口まちづくり協議会を開催いたします。事務局からも先ほど話がありましたが、第4次としては第6回ですが、4年ぶりの開催になります。

以前は令和2年のコロナの前までに駅前広場の植栽まで皆様と協議しながら進めていきましたが、想定もしていない新型コロナウイルス感染症というものに襲われて、大分予定が狂ってしまいました。ただ、現在では世の

中もほぼ元通りになっていますし、先ほど市長からお話ございましたが、事業も約9割のところまで進んでいるということで、最後の仕上げとして会議を再開することになりました。よろしくお願いします。

本日、もしかしたらこの後、来られるかもしれませんが、今のところ、安部委員、加藤委員、上條委員がいらしていません。また、押田委員につきましては、移動中ということですので、よろしくお願いいたします。

本日の議事次第に基づいて進めていきたいと思っておりますが、まず4年ぶりの開催でございますので、事務局には改めて区画整理事業の概要とこれまでの動きや今後の予定等を踏まえながら検討内容についてご説明をいただければと思います。

事務局  
会長

< 事業概要等について説明 >

事務局から事業概要等についての説明が終了いたしました。

今回のまちづくり協議会では、梶野通りの樹種の選定と駅前公園の施設等の協議を行うとのことで、第1回目である本日も第2回目の協議会で、概要説明や検討条件等の説明を受けて具体的な検討と決定を行い、第3回目の協議会で最終的な確認を行うとのことです。

本日の議事の流れですが、議論する項目がいくつかありますので、最初に梶野通りにまつわる検討として、街路樹の樹種、ベンチ、横断防止柵について皆さんからご意見をいただき、その後に駅前公園の樹種と施設について皆さんからご意見をいただく、というようにポイントを分けて議論したいと思います。さきほど概要まで含めてご説明いただいたので、今日の議論する検討ポイントについて事務局より説明をお願いいたします。

区画整理課長

区画整理課長の久保でございます。改めまして、本日のポイントを説明させていただきます。

平成23年12月に道路や公園等の整備内容を網羅した「東小金井駅北口公共施設整備計画」を策定しております。この計画は、「東小金井駅北口まちづくり協議会」を2年間、12回にわたって開催し、さらにパブリックコメントを実施し市民の皆様から広く意見をお伺いし策定しております。

ただ、整備計画ができてから14年が経過し、この間、地球温暖化や高齢化など社会経済情勢も変化しているため、協議会の皆様からご意見等を伺って、反映できるものは、反映していきたいと思っております。

まちづくり協議会は、4年前に新型コロナウイルス感染症の影響で1度中止になるまで47回開催しております。今回、社会経済情勢等の変化を踏まえた検討を行い、公共施設の検討については1度区切りをつけたいと思っています。

ただ、学識経験者委員からのご意見ですが、街はできてからが本当の勝負だと。公園ができた、街路樹ができた、それをどのように、皆さんで育てていくのか。街路樹を行政がずっと管理することにも限界がありますので、ぜひ、沿道の方を含めて、この区域の方に愛でいただきたい。公園もそのままにしておくと、ただの公園になってしまいますので、何か良いイベント等をやって東小金井のにぎわいをつくっていく。これは次のステップになりますが、本日は、東小金井駅北口公共施設整備計画を社会経済情勢等の変化を踏まえてアップデートできる部分についてご意見をいただ

きたいと思っております。

具体的な検討内容ですが、梶野通りの街路樹は、公共施設整備計画において、ケヤキ、ヤマザクラ、シラカシの3樹種まで絞られております。梶野通りの幅員は、小金井市道の中で最も広い20メートルあり、昨今の地球温暖化の影響で、日影を作って欲しいという要望も多いので、広緑陰の3樹種から、選定していただきたいと思っております。

その一方、大きいほど、落葉や、花が散った後の問題、枝が民有地に越境したり、という苦情もあります。そういったものも含めて、ケヤキ、ヤマザクラ、シラカシから選定していただきたいと思います。

次にベンチについてです。当時はベンチという要望はなかったのですが、高齢化が進み、ベンチを置いてほしいという要望も非常に多くなっています。幅員がありますので、ベンチを置いて、少し休める素敵な道路にしたいと思います。

次に横断防止柵ですが、通常、横断防止柵というと鉄のパイプになるのですが、やっぱりせっかく整備する街ですので、擬木を使ったような横断防止柵もありますので、ご意見をいただきたいと思っております。

そのほか、平成23年当時は、自転車は歩道を走りなさいというルールだったため、自転車が歩道を走っているところを描いてあります。今ではルールも変わって自転車は車道を走ることが原則となっています。警察との協議になりますが、そういったところも徐々に変えていかななくてはいけないと思っております。

以上、ご意見をいただいて、良い街になるように、反映できるものは取り入れたいと思っております。よろしく願いいたします。

会長 事務局から本日の議論のポイントについての説明が終了いたしました。

具体的な検討内容としては、まずは梶野通りについて。その次に駅前公園について進めていきたいと思います。

まず梶野通りの樹種とベンチについて皆様からアイデアや、社会経済状況の変化を踏まえてこうすべきだなというようなご意見があれば賜りたいと思います。

A委員 梶野通りの交差点まで何本ぐらい木を植えるつもりなののでしょうか。むやみに植えても葉っぱは落ちるし、剪定等いろいろ費用がかかります。

区画整理課長 何本にするかは決まっていますが、高木になりますので、通常の街路樹より間隔を広めにとらないと、沿道の方々にご迷惑をおかけすることになりますし、管理も大変になります。その辺は設計段階の中で、我々行政の責任として適した間隔を考えて整備していきたいと思っています。

会長 自治体の植えた樹木や街路樹の維持管理をどのようにしていくかという大きな課題に皆さんぶち当たっています。今から10年前には、みんなそんなことをあまり考えていませんでしたが、やはり考えざるを得なくなってきたというタイミングなのかと思います。将来の維持管理も踏まえて、植える本数も多ければ当然、とてつもない維持管理が今後かかってきますので、今のA委員のご指摘は、維持管理のことをきちんと考えてほしいということだと思います。維持管理という視点も入れた樹種の設定が必要です。

区画整理課長 ケヤキは東大通りのピーコックストアの前から南側に植樹されておしま

す。ヤマザクラは玉川上水にあり、非常に大きくなっています。シラカシは市役所第二庁舎の北側の再開発エリアの中に植樹されております。

ケヤキは非常に大きくなり、しかも落葉するので、今の時期、落ち葉もすごい量になります。ヤマザクラは落ち葉に加えて花も散るというのと、やっぱり木が弱い面もあります。B委員によりますとヤマザクラは樹種の個体によって大きさにばらつきがあるということです。シラカシは、常緑で、再開発地域にも植えてられているぐらいですので、比較的丈夫な樹種というふうに言われております。

B委員      まず具体的にこの木にしよう、あの木にしよう、という決め方ではなく、駅前広場にウスベニザクラを植樹したように、やはりこの場所がどういう場所かということから考えていかないといつまでも決まらないと思います。東小金井がどういう場所なのか、小金井公園への入口という「唯一性」や東小金井らしさという「独自性」。地域の「らしさ」という今日いる皆さんの共通したアイデンティティのようなものをしっかり掲げて、だったらこの木だよというような決め方をした方がいいと思います。

それともう1つ、手入れ等について。木が大きくなると落ち葉等のクレームが絶対に出てきます。街路樹は前からあるため、小金井市や東京都の行政の木という感覚になり、さっさと切れという発想になるのだと思います。そうではなく、自分たちの木ということを芽生えさせるわけです。新規に植えるときは、非常に良いタイミングなので、植えたときに、これは自分たちの木だよということを、植栽と一緒に自分たちの気持ちも植え込む必要があります。

具体的には、植えた木が大きくなって、この酷暑でも緑陰を与えてくれる、それこそ命に関わるような緑を提供してくれる。その後落葉したら、私たちの命を助けてくれている貴重な葉っぱだから、みんなで集めて、今度作る駅前公園の一部に溜めて堆肥化して、また、ここの植え込みに戻そうじゃないか、と。そういう作業をすれば、自分たちの木という気持ちが芽生える。だから今回良いタイミングなので、ぜひそういうことも含めて植栽計画を考えるのが良いと思います。

誰がそれをやるのか、となった場合は、ボランティア等を募る。せっかくここに広場ができるのだから、1年に1回でも、みんなで集まって作業すれば気持ちも宿るのではないかと思います。

あと決め方については、やはりこの小金井公園の入口だからとか、まっすぐ北へ行くと名勝小金井桜の玉川上水に当たるとか、そういう唯一性を考えて煮詰めていければいいと思います。

会長      この地域としてのアイデンティティ、何が重要なのかというような方針があって、その方針に基づいて木を選べばいいだけのことです。最初から3つの樹種のどれかではありません。次回までにアイデンティティという視点から判断材料を準備していただきたいと思います。

今日は第1回目で、今日決めるわけではないので、ちゃんと判断できる根拠やその準備を事務局にお願いしたいと思います。全くご指摘の通りで自分の木、地域の自慢の木でなければ、他人ごとになってしまうと思います。

C委員      B委員のお話に全く同意です。植えたあとは成長管理の段階と成長して

からその状態を維持する維持管理の段階と 2 段階があります。例えばケヤキやヤマザクラ等が 10 メートルを超えるまで数年以上要するため、まずはどう育てていくかというのを考えていただきたいし、そのお手伝いができたらと思うのが 1 点目です。

2 点目は、樹木の役割とは、同じ樹種でこっちに行くと小金井公園があるよ、という導入の役割を持たせる樹木と、駅前等での休憩のための樹木、あるいは緑陰を得るだけの樹木等、様々ですので、ここでどうしたいのかというのも含めた上で、何か場所と緑との関係性を合わせてやっていくと、単純にこれがいい、あれがいいという 1 個の視点だけではなくて複合的な空間整備になるのかなと思います。

会長 景観が変化するシークエンス計画といった観点もぜひ考えていただければと思います。今日決めるわけではないので、こういった判断をする上でどういった根拠が必要か、それを次回までに準備をお願いします。

D 委員 花びらが散らかる、後片付けどうするのかというのは、どんな木を植えても必ずあると思います。市民感覚で私が考えるのは、その緑で日陰が欲しいのか、シンボルが欲しいのか、そういった単純な考え方から入っていくと市民としては考えやすいと思います。

区画整理課長 次に公園について説明させていただきます。まず公園の植栽樹種についてです。東小金井駅北口を降りて、ウスベニザクラが咲いている交通広場の向こうに公園ができるので、玄関口としての樹種は大切であると思うので、そのような観点からもご意見をいただきたいと思います。

この駅前公園は、公共施設整備計画ではオープンな公園としていて、どこからでも入れる公園というコンセプトにしているんですけども、四方を道路に囲まれていて、お子さんとか、道路に飛び出してしまう危険があるので、木目調の柵など設置するなどして、インクルーシブな公園として整備する必要があると考えています。

そのほかミスト、トイレ、公園名、ネーミングライツなども検討課題であると思っています。

C 委員 昔の記憶ですが、保育園が近くにある気がします。公園はその利用者層に結構左右されるのかなと思っています。駅前のため多くの方が滞留したり、待ち合わせに使えるような、そんな場所を想定していますが、保育園との関わりを改めて聞かせていただきたい。

小さいお子様や保育園の関係者等が使用されるのであれば、柵の話もそうですが、カートで入るとか手を繋いで入るとかという動線計画も大事になります。ぜひその辺を周辺の方々と検討しながら決めていただきたいのと、最近は舗装が熱くなりすぎて犬も歩けないという話もあるので、緑陰、植栽、ミストもそうですが、それ以外の暑さ対策も必要だと思います。

会長 利用者をどう想定するか。インクルーシブも含めて多様な利用者のことを考えて欲しいというようなご指摘だと思います。

A 委員 だんだん建物も建ってきて、駅前として商店街の人が盛り上げていくために使えるような形にしてもらったほうがいいと思います。

B 委員 あまり方向付けを決めずにフレキシブルにいろんなイベントができるような空間にしておいた方がいいと思います。梶野公園が近くにあるから同じような機能を持たせる必要はなく、梶野公園とすみ分けをしたほうがいい

いと思います。

C 委員 複数の公園や梶野公園とのすみ分けが必要だと思います。それによって公園施設やトイレ等も種類や規模、設置方法も変わってくるため、改めて周辺施設の洗い出しをしていただけるとありがたいです。

会長 これからは作る段階で利用者を想定しないといけない。特にトイレは結構大きい問題だと思います。トイレは作らないという選択肢もあるのでしょうか。

区画整理課長 今のところトイレは作らない予定です。

E 委員 商工会としてイベントで使うとなるとあったほうが望ましいです。水道は絶対に使います。

B 委員 武蔵小金井の北口の一番西の外れに「むさこぷらっと公園」という小さな公園があって花壇と遊具が少しあります。場所が良いこともあります。お母さんたちが買い物に来たり、子供を連れてきて遊んだり、とても利用率が高い。だから、そのような小さい遊具はあってもいいと思います。ただ子供が多いなら、安全管理の問題で飛び出し防止柵は必須だろうと思います。

武蔵境駅南口駅前にある境南ふれあい広場も同じように駅前で大きさも同じくらいだから、使われ方の調査をしてもよいかと思います。

D 委員 境南ふれあい広場はイベントをたくさんやっています。あそこは最初、みんな遊べるように芝生を作って養生もしていましたが、結局、人が入るとみんな芝生が駄目になって芝生を止めました。そしたら砂埃がたつようになってしまいました。境南ふれあい広場の使われ方としては、四方八方どこからでも入れるから、駅に行く人、スーパーに行く人、横切る人、銀行に行く人等、自由な通り方ができる公園になっています。でも広場なので子供も遊んでいるし、周りにベンチがあるから、年寄りも日陰で休んでいるし、トイレも脇にあるし、非常に多様な使われ方をする公園になっていると思います。

会長 芝生で寝っ転がるというのであってもコンセプトが1つあるといいと思います。ただ、ネーミングライツは違うかなと思っています。今駅前公園という仮称になっていますが、公募で決めれば「俺達が決めた公園だぜ」という感覚になります。最初から企業名だと「俺達の公園ではない」という感覚になりそうなので、ネーミングライツは次のステップだと思います。

F 委員 小金井市内でミストが実際に設置されている公園はあるのでしょうか。

A 委員 ミストは梶野公園にあります。

区画整理課長 他市だと、三鷹の駅前等いくつかあるようです。今までミストの需要は聞きませんでしたが、近年の猛暑のせいで、要望を聞いています。ミストの設置は簡単そうに見えますが、実際には水道の整備や維持管理等簡単ではないようです。

会長 防災の機能は持たせたりするのでしょうか。

A 委員 梶野公園は防災公園になっていますが。

区画整理課長 梶野公園はかまどベンチや井戸もあり防災公園となっています。

会長 皆様、アイデア出しいかがでしょうか。思いついたことがありましたら、来週11月21日金曜日までに事務局までお伝えいただければと思います。



区画整理課長	一応3回でまとめたいと思っています。2回目の会議でご意見をもらうと3回目の会議で返す形になってしまうため、ご意見等あれば、なるべく早めにいただければ、2回目3回目に有意義な議論ができると思います。
会長	<p>今日は皆さんいろいろご意見ありがとうございました。</p> <p>まずは樹種を選定するにしても、アイデンティティとかコンセプト等、判断できる材料がないので、まず判断できる材料、特に、梶野通りの街路樹について判断できる材料を考えてほしいと思います。</p> <p>それから、公園については利用者を踏まえてどういったものが必要なのか。先ほどミストの話もありましたが、水道や電気はどうするのか等も含め、利用想定を踏まえた施設計画というのを考えて欲しいというご意見がありました。</p> <p>あとはフレキシブルという話もありました。例えば、今は芝生のニーズがあるかもしれませんが、10年後には全くないかもしれない。そういったことに対応できるような「フレキシブル」というものも必要です。</p> <p>また、象徴性という意味では小金井の木というのものもあるかもしれません。地域 みんなで同じ方向を向いて、コンセプトをしっかりと出して欲しいということでしたので、事務局の方、ご検討をお願いします。</p>
B委員	<p>小金井市は北と南に大きな生態系をもっています。これは小金井市の特徴のため、この豊かな生態系を、こういうところでも感じつつ、感じさせるような植栽にしたいと思います。</p> <p>この木をなぜ植えているのか、実はこれは北の生態系が南の方に行く中間地点なんだよ、というように、ここの公園だけに収めないで、もっと大きい小金井全体を意識した植栽計画もあったほうがいいと思います。</p>
会長	来週の金曜までに事務局にお届けいただいて、事務局ではそれを踏まえて、次回、資料提示をお願いできればと思います。今日はありがとうございました。以上で審議を終了いたします。その他について事務局からご説明をよろしくお願いいたします。
事務局	次回、第二回のまちづくり協議会は12月16日火曜日とさせていただきます。第三回は2月19日木曜日の開催が難しくなってきたため、2月17日火曜日はいかがでしょうか。概ねよろしければ次回に最終確認といたしたいと思います。なお、時間は両方とも同じ午後6時30分から、場所は同じ区画整理課事務所2階でお願いします。
会長	本日、長時間の会議、皆様ありがとうございました。これからの短い期間で皆様と最後の仕上げとして、街路樹のデザイン、公園のデザインを考えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。